

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜わり、誠にありがとうございます。
本日、平成 22 年度の業績について公表いたしました。

<金融経済環境>

わが国の経済は、3月11日に発生した東日本大震災を受け、未曾有の危機にあります。東北・関東地方を中心とした被災地の損害は極めて甚大で、その規模は平成7年に発生した阪神・淡路大震災を大きく超えるものと見込まれ、全国的に見ても、直接・間接を問わず影響を受けている企業は広範に亘っており、当面の間、経済活動は停滞した状況が続くものと予想されます。

当金庫の「中小企業月次景況観測」においては、大震災の発生前までは景況感に持ち直しの兆しがみられ、売上高も近年のピークから約9割の水準まで回復していましたが、震災発生後の調査では景況判断指数が過去最大の低下幅を示すなど足許では大規模災害の影響が大きく出ており、今後、中小企業の景況は極めて厳しい状況になっていくものと考えられます。

<平成 22 年度の回顧>

このような環境の下、平成 22 年度はセーフティネット機能の発揮を最重要事項とし、法定された指定金融機関として危機対応業務を中心にその機能発揮に全力をあげて取り組みました。その結果、制度開始以降の累計実績は7万3千件、4兆8千億円を超える規模となり、こうした中小企業の資金繰りや経営の安定化への支援を通じて、地域の雇用維持・経済の安定化に大きく貢献することができました。

3月11日に発生した東日本大震災に対しては、同日、全営業店に「特別相談窓口」を開設し、被害を受けた中小企業の皆さまを支援するため、特に万全を期して取り組んでいます。ご相談に対しては、被災された方々の立場にたって懇切・丁寧かつ迅速な対応に努めることはもとより、個別の実情に応じて、危機対応業務（災害復旧資金）の取り扱いや既往のお借入れ条件の変更等による支援を行っているところです。

また、平成 22 年 7 月に創設した成長戦略総合支援プログラムを活用する等、中小企業の皆さまの企業価値向上に向けて全力でサポートしました。制度開始後の約 8 ヶ月で 1,600 件、1,200 億円を超える実績をあげるなど多くの中小企業の皆さまの更なる成長に貢献することができました。

こうした取組みの結果、連結貸出残高は通期で 742 億円（単体では 646 億円）の増加となり、収支につきましても、貸出増加等による資金利益の改善に加え、早期の経営改善支援への取組みや政策効果による企業倒産の減少に伴い与信費用が減少したことなどにより、291 億円の連結経常利益（単体では 272 億円）、158 億円の当期純利益（単体では 147 億円）を計上することができました。この間の株主の皆さまならびにお取引先の皆さまのご支援に厚くお礼申し上げます

<平成 23 年度の業務運営>

今回の未曾有の大規模災害による経済、金融、国民生活への影響は極めて甚大かつ広範囲に亘るなど復旧・復興に向けた取り組みは国家的な課題となっており、政府において、さまざまな支援策が順次実施されています。足許では、5月2日に成立した平成 23 年度補正予算等において危機対応業務の総事業枠、1社当たりの貸出限度額、利子補給額等が拡大されるとともに、商工中金が震災対応に万全を期して取り組んでいけるよう、商工中金法の改正が行われ、政府保有株式を全て処分する期限の延期等の措置がなされたところです。

このような環境において中小企業の皆さまをしっかりと支えていくことは、危機対応業務の指定金融機関であるとともに、公的金融で唯一、預金・決済機能、短期融資等のフルバンキング機能を有する商工中金の使命そのものであり、全国ネットワークを活用したその機能発揮について国や中小企業の皆さまからも強い期待が寄せられているものと思われまます。

商工中金といたしましては、求められる機能・役割の大きさを十分認識し、まずもって未曾有の大規模災害の復旧・復興に向けてセーフティネット機能の発揮に万全を期すなど、災害復旧・地域経済復興に取り組む中小企業の皆さまを支えていくことに組織をあげて最優先で取り組んでまいります。

また、「中小企業金融の円滑化」を目的とした金融機関として、その使命・役割を的確に発揮していくため、様々なノウハウやソリューションの提供などを通じ、経営全般に亘ってバックアップするなど中小企業の企業価値向上に向けた取組みを一層強化してまいります。

こうした取組みを一層強化するとともに、一段の経営合理化を図ることなどによって、当金庫自らの健全な経営基盤の構築へ繋げてまいります。

大変厳しい環境ではありますが、「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいります。

今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。